

10月

2018 vol.153

# おたより

# 議会だより

補正予算……………	2～3
予算特別委員会……………	4～6
決算特別委員会……………	7～8
一般質問……………	9～11
各常任委員会……………	12～14



# 猛暑対応の教育設備工事、設計委託等を補正 29年度一般会計決算 実質単年度収支△1.2億円

## 9月 定例会

9月定例会は、9月3日～21日まで開会した。

承認1件は、大阪北部地震の教訓を受けて通学路危険ブロック塀撤去支援事業、猛暑に対応した教育施設冷房設備等の30年度一般会計補正予算の専決処分の承認。

報告1件は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定による健全化判断比率の報告で、実質公債費比率12.0%、将来負担比率122.6%、資金不足該当なしの報告がなされた。

諮問1件は、任期満了に伴う人権擁護委員候補者として小林寿子氏（再任）を法務大臣へ推薦すること。

同意3件は、任期満了に伴う3氏の再任について。

南陽市教育委員会教育長 長濱洋美氏、南陽市教育委員会委員 鎌田一郎氏、南陽市監査委員 青木勲氏。

条例・その他2件は、

議会の議決により取得すべき条例での小型除雪車の取得について。南陽市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正し、市長給料支給額の月額一割減額について。

補正予算8件 決算認定8件を含む計24件は、すべてを同意、承認、可決した。

一般質問は5名の議員が2日間にわたり当局の考えをただした。補正予算（専決処分を含む）では、決算確定に伴う財政調整基金等の積立や繰越額の修正など7億4790万円を補正し、補正後の一般会計予算を149億9544万円とした。

29年度決算では、実質公債費比率、将来負担比率ともに前年より改善した。主な歳出では民生費の増加が顕著であり、歳出の構成比率も上昇している。また、29年度の実質単年度収支は1億2095万円の赤字となった。

請願1件は、「ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について」は、付託された総務常任委員会会で採択。本会議でも全会一致で採択し、国に意見書を提出することとなった。

### 障害者総合支援事業費

## 860万円

#### ◎障害者自立支援システム改修委託料

30年度の障害者総合支援法改正に伴い、新たな障がい者サービス等が追加されたことから、障がい者福祉サービス等の支給・管理のため使用しているシステムを改修するもの。

### 小中学校施設整備事業費

## 301万円

#### ◎施設修繕費用

荻小学校と沖郷中学校のFF式暖房機、沖郷・梨郷・中川・漆山小学校の外壁、宮内中学校の2階講堂と特別支援学級のエアコン室外機等の修繕を行うもの。

30年度9月定例会  
一般会計補正予算  
**7億4,790万円**  
補正後総額  
**149億9千万円**

### 幼稚園施設整備事業費

## 496万円

#### ◎赤湯幼稚園冷房設備工事

暑さ対策として、5教室に冷房設備を設置し、遊戯室に大型扇風機を2台設置するもの。

## 小中学校一般管理費／管理施設整備費

# 248万円

### ◎大型扇風機購入／冷房設備設置工事 設計業務委託

今年の酷暑に対する当面の緊急対策として、大型扇風機を購入し、各小学校に117台、各中学校に57台の合計174台を配置。また、31年度に市内全小中学校の普通・特別教室にエアコンを整備するため、冷房設備設置工事設計業務委託を行うもの。



小中学校へ配置した大型扇風機

## その他の主な事業

☆財政調整基金積立金	4億6,785万円
☆公共施設維持管理基金積立金	1億5,708万円
☆国県補助金等過誤納金還付金	3,767万円
☆市税過誤納金還付金	600万円
☆庁舎整備事業費	135万円
☆戸籍住民基本台帳事務費	295万円
☆国民健康保険特別会計繰出金	531万円
☆介護保険特別会計繰出金	385万円
☆民間医療施設建設関連事業費	548万円
☆森林管理集積計画に係る 事前調査業務委託料	400万円
☆ハイジアパーク南陽管理事業費	351万円
☆学校給食一般事業費	301万円
☆文化会館管理運営費	304万円
☆予備費	1,583万円

## 県中学校総合体育大会 選手派遣費補助金

# 190万円

県中学校総合体育大会に、宮内中学校からバスケットボールを含む6種目、赤湯中学校からは軟式野球を含む9種目、沖郷中学校からは剣道女子団体を含む6種目が出場したことに伴い、大会出場諸費用を市の補助金交付規定により交付するもの。

## 部活動指導員配置事業費

# 75万円

各中学校に、部活動担当教職員を支援する指導員を10月より各1名配置し指導体制の充実を図ることで、部活動の円滑な運営を行うもの。

## 通学路危険ブロック塀等撤去支援事業費

# 250万円

通学路に面するブロック塀が地震発生時に倒壊する危険を軽減するため、申請1件につき20万円を上限に撤去費用の一部を助成するもの。



撤去前のブロック塀（結城記念館）

## 第2期子ども・子育て支援 事業計画策定支援業務委託料

# 332万円

27年度に策定した子ども・子育て支援事業計画は、32年度に改定、施行が予定されているため、事前の利用希望調査やその分析等の専門性の高い業務を委託するもの。



予算特別委員長  
殿岡和郎議員



予算特別副委員長  
板垣致江子議員

佐藤 明 議員

市内各施設の利用状況

◎市内各種施設（タづるの里・総合公園など）の利用状況は。また、これからの利用増は。

〈社会教育課長〉利用状況は体育施設については29年度20万人程度でここ3年横ばい。文化施設では、結城記念館3千人、夕鶴の里は9

千人でピーク時の3分の1程度となっている。  
◎利活用については、再検討して施設運営を実施してほしいが今後どう考えているか。

〈社会教育課長〉体育施設は施設の利用だけでなく、健康寿命の延伸や、健康づくり志向が盛んになっていることから潜在的需要がある。文化施設は、伸び悩みはあるが、結城記念館は、結城先生を顕彰するとともに、青年教育の拠点でもある。夕鶴の里は「鶴の恩返し」発祥の地で、県内各地民話会の中心的役割を期待されており、時代にあった利活用を検討していかなければならない。  
◎運営のやり方によっては、イベントなども含め、総括して反省すべき点は反省し、各課

で議論しながら各種団体も含め働きかけをし、新たな出発をしていくことが大事と思うがどうか。

〈社会教育課長〉市民や観光客のニーズがベース。時代にあつた施設運営に心がけていく。



夕鶴の里

山口 正雄 議員

ブロック塀等補助要件に矛盾は？

◎通学路危険ブロック塀等撤去支援事業の補助要件に「ブロック塀等が道路面からの高さ1mを超え、基礎ま

で全て撤去するか、または、高さを50cm以下に撤去する場合」とあるが、高さ50cm以下の部分について、補助している他自治体での基準はどうなっているか。

〈建設課長〉酒田市、鶴岡市の場合も、50cm以下であれば通行人に支障がないということを目安になっている。  
◎矛盾を感じる。1mを超えるものは50cm以下にさせ、現在1mの高さのものはそのままが良いということになる。1mまでは安全上問題ないという考えなのか。

〈建設課長〉1m未満だから安全というわけではなく、補助要件として線引きが必要なので1m超とした。  
◎そうだとすれば1mのものも50cmにという統一した基準が必要だ

と思う。1mのものも50cmのものも存在することに。このバラツキについて市長はどう思うか。

〈市長〉法律に則った塀なのか等、様々な観点を考慮して今回の要綱になったと理解している。不備な点があれば、今後直していくのはやぶさかではないが、一定の線引きとして50cmとした。  
◎そういうことであれば基準を統一して、1mのものも対象にすべきと思うがどうか。

〈市長〉1mが適切なのか90cm、80cmが適切なかの議論になるので、整理が必要になる。  
◎ではなぜ50cmの基準を作ったかということになる。今後検討したい。修正すべきものは修正していただきたい。

〈建設課長〉申請は現在ないが、問い合わせは10件ほど。  
◎天童市では市内全域の点検を実施したとのことだが、ブロックのグラツキやひび割れなど、市民から危険を指摘された箇所はあるか。  
〈学校教育課長〉通学路は、各小中学校に照会し、目視である程度の

関連

白鳥 雅巳 議員

◎公共施設箇所の対処対応について。

〈総合防災課長〉市内公共施設の一斉点検をし、結城豊太郎記念館のブロック塀も含め、基準に合致しない特に通学路に面した老朽化した施設を中心に撤去・修繕を進めている。  
◎民間において撤去する際、補助金が出るが現時点で申請件数は。

〈建設課長〉申請は現在ないが、問い合わせは10件ほど。  
◎天童市では市内全域の点検を実施したとのことだが、ブロックのグラツキやひび割れなど、市民から危険を指摘された箇所はあるか。  
〈学校教育課長〉通学路は、各小中学校に照会し、目視である程度の



高さ・長さがある危険箇所を関係課と相談し、合同で点検した。

◎通学路以外のブロック塀については、除雪の関係もあり、一概に撤去ではなく、危険と思われる箇所については指導をお願いする。



倒壊したブロック塀

高橋 一郎 議員

部活動指導員の配置

◎部活動の競技経験のない先生方が中学校では45%だが、現時点で本市の把握は。

〈学校教育課長〉3 中学

校で運動部、文化部は45部。54%が専門的指導が可能であると捉えている。

◎指導員が顧問か補助なのか採用に当たっての考え方は。

〈学校教育課長〉今年度は全ての部活動に顧問が就いている。年度途中からのスタートで顧問の補助的な立場となり、各学校に1名ずつ配置と考えている。

◎事故にあった場合に公務災害となるが、身分と扱いについては。

〈学校教育課長〉単なる指導員でなく、校長の指示・命令・監督のもとに業務にあたることとなる。また、指導員になると事故等の責任も発生してくるので、責任の所在など規定を策定し、その規定に基づいて対応する。

◎配置はいつからで、

また、資格については。

〈学校教育課長〉早ければ10月と予定しているが、年度途中であり、すぐ引き受けてくれる人がいるか調整中だが、その職にあつて頑張りたいと思っている方、

また、資格については限定せず、活動に精通しており、学校教育を理解されている方をお願いしたい。

※会計年度任用職員制度について

◎地方自治法改正により、32年4月から開始と言われているが、その準備は進んでいるか。

〈総務課長〉国から詳細は示されていないが、嘱託職員、非常勤職員など、すべての部署で洗い出しを進めている。

◎条例改正が必要と思うが。

〈総務課長〉来年10月をめどに進めている。

板垣致江子 議員

スカイスポーツ整備

◎スカイパーク関連で、降雨時の高ツムジ山に行く道路が危険と思うが対応は。

〈建設課長〉降雨の後はパトロールしており、路面の流出については随時対応している。



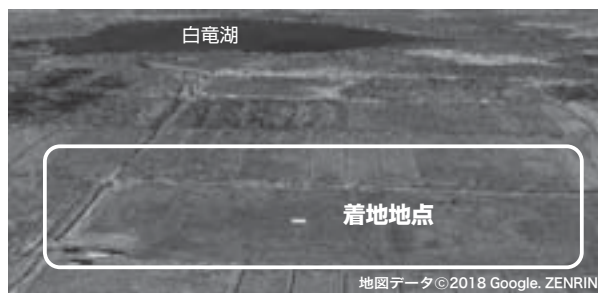
高ツムジ山への道路

◎スカイフェスティバルなどでは特に道路の簡易舗装などで対応してほしいが。

〈建設課長〉参加者が困らないように現場を見ながら対応していく。

◎着地ポイントの駐車場の地盤沈下についての対応は。

〈商工観光課長〉砂利を多く敷くことによる、周囲の地盤への影響を考慮し対応していく。



ハング・パラ着地点

船山 利美 議員

ふるさと納税について

◎国の指示により、今年度の返礼割合は3割に引き下げたために寄付額が落ちている。今後の対応は。

〈商工観光課長〉現在のふるさとチョイスに加え、新ポータルサイトも併用していく。また、新しい商品の数も増えているので挽回したい。

◎新サイト立上げの予算で通信費とは。

〈商工観光課長〉送料である。商品代金と送料を分割することになったために6百万円を補正予算要求している。寄付額を1億円、5千件を見込んでいる。



返礼品の一例（ラ・フランス）

◎国では、使い道を示していくべきとあるが市長は今後どう進めるのか。

※ 会計年度任用職員…法改正に伴い、一般職である会計年度任用職員が創設され、これまでの臨時・非常勤職員の任用・服務規律等の整備が図られ、会計年度任用職員へ移行することになる。(H32.4～)

〈市長〉調査研究をして検討を進めていく。

### 獣害対策について

◎捕獲計画60頭に対し現在までの捕獲頭数は。

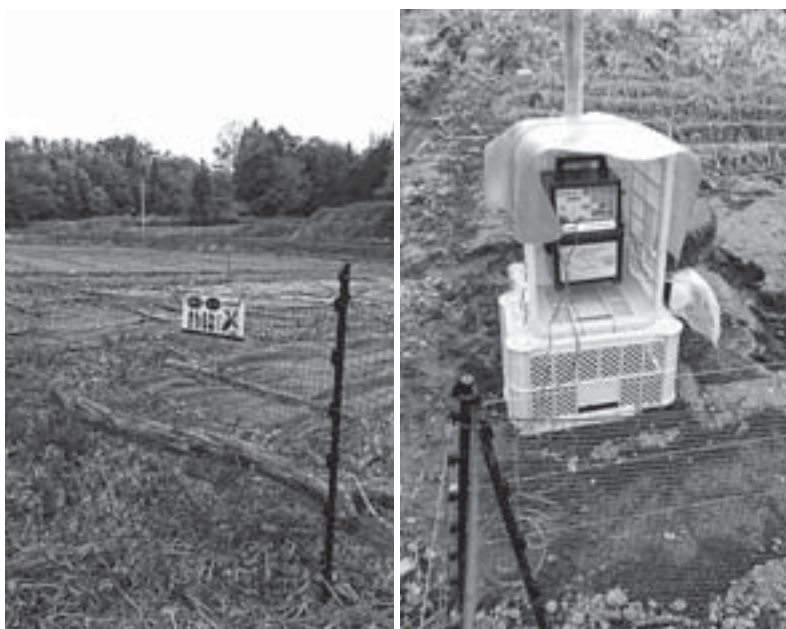
〈農林課長〉熊4頭、猪12頭、計16頭である。

猟友会に頑張っていただけるようお願いして

◎電気柵の補助率1/2であるが利用状況は。

〈農林課長〉現在21件の申請があり、当初予算で対応できないため、今回補正を要求している。

◎獣害は、生産意欲を大きく失う問題だ。広く広報し推進して行くべきだ。



電気柵全景

制御装置

## 片平 志朗 議員

### 災害ゴミ処理について

◎地域防災計画の中でこの件が示されているが、災害時におけるゴミの収集場所は確保しているか。

〈総合防災課長〉災害廃棄物処理計画を策定する中で収集場所や方法等幅広く現在検討中である。

◎災害時には、大変重要なことから早急に進めて行くべきである。

### 介護保険会計

## 佐藤 明 議員

### 介護保険料の値上げ

◎新年度から18.5%の値上げになった。これは県内で2番目に高い上げ幅だが、市民からの苦情はないか。

〈税務課長〉最も多い問い合わせをいただいている。

◎介護保険料の値上げが大きすぎて、国保の

徴収額削減による恩恵がかすんでしまった。

国保は1回分近くの徴収額が削減されており、その点は評価するが介護保険は問題が大きい。

〈福祉課長〉今回基準額が1000円増加したため負担が大きくなつたが、その分サービスは向上している。今後は国の基準に準じて負担軽減に努めたい。

◎市民の負担がこれ以上増えないように、次回3年後の引き上げはしないでいただきたい。

〈市長〉公共サービスは、国が全国一律の負担でサービスを行うことが大事だ。今後も負担増にならないように努めていく。

### 上下水道会計

## 高橋 一郎 議員

### 水道事業の民営化

◎水道法の改正により

全国的に水道事業の民営化の流れが進んでいるが、民営化は公共施設の運営権を民間に委ねるといことだ。市長の考えは。

〈市長〉継続的なインフラが円滑に使用できるかの不安が最も大きい。現在民営化は考えていない。

◎私も民営化には慎重な立場だ。全般的なこととして、公営のままを希望する。

## 片平 志朗 議員

### 微細プラスチックゴミ

が水道水に与える影響

◎水道水に微細なプラスチックゴミ(マイクロビーズ)以下MB)が含まれていたとの記事が新聞に掲載された。主に米国に多いようだが、市の見解は。

〈上下水道課長〉MBは国の検査項目に入っていないため状況は不明だ。また市の水源は山間部にあるため、市の水道水に影響はないと考えている。

◎項目にないから良いというものではない。今のままでは安全性に不安が積もり、水道水離れが起きかねない。国に改善を要望すべき。

〈上下水道課長〉今後、県企業局に検討を要望する。

◎MBは現在すでに食物連鎖のサイクルに組み込まれており、今の空気中にも数多く浮遊している。そもそも山間部に水源があるから安全という考えが間違っている。

〈市長〉本市の水道は県の水源を利用しているため、関係機関と連携し対処する。



# 29年度決算

## Q&A



決算特別委員長  
白鳥雅巳議員



決算特別副委員長  
山口正雄議員

### 佐藤 明 議員

#### 財政状況分析

◎財政力指数は0.46と不足ながらも改善傾向にあるが、経常収支比率は91.1%に上昇した。どのように分析しているか。

〈市長〉様々な要因があるが、全体としての主

たる要因は、社会保障関連費用の扶助費が10年前の約2倍となっており、この上昇による硬直化が大きな要因。

〈財政課長〉長期的視点では、投資的経費の抑制が要因。前年比では、扶助費0.5、物件費0.8、繰出金0.2と各ポイントが増加していることも要因。第5次総合計画の32年度目標値の94%には収める。

◎重要な問題と認識すべき。社会保障費の上昇はどの自治体も同様の傾向にある。想定を踏まえた対応が求められているはずだが。

〈市長〉予想できる費用を考慮して、持続可能な南陽市を目指し、市長報酬の減額を含めた財政改革の手を緩めず庁内一丸となって努力する。

#### 文化会館にマッチする環境を

◎文化会館はオープン後3年が経過し、利用者数も当初予想を上回り順調に運営されている。しかし、せっかく市外からの利用客も多い状態であるのに、会館西側の国道から見える場所に看板がないことは問題だ。あつてしかなるべきと思うがどうか。

〈みらい戦略課長〉市役所周辺全体の整備計画の中で検討していきたい。◎せっかく良い施設を整備しても市役所入口



東側から見た文化会館のサイン

の水路に、側溝はなく、雑草が生い茂り見た目が悪い。どう認識しているか。

〈副市長〉看板は以前検討したが、構造とコスト面での今の状況にある。サイン計画を検討する。また、水路についても事業費の問題があった。今後検討していきたい。

◎側溝の整備は、いつかは行う必要がある。交通量の多い場所でもあるので、安全安心の観点からも早急にすべきと思うがどうか。



旧消防署跡地水路

### 船山 利美 議員

#### 中国南陽市交流事業

◎費用の内容は。

〈みらい戦略課長〉昭和60年に日中友好協会を設立し、各種事業を開催してきたが、近年は事業を行っていない。昨年は中学生卓球交流事業の訪問に対する補助

◎30年度予算では減少しているが、国際社会のグローバル化の進展もあり、益々必要ではないか。今後の取り組みは。〈みらい戦略課長〉今後も継続して随時行う。

生活保護扶助費 ◎医療扶助費の増加・葬祭扶助費の発生の内容は。



〈福祉課長〉生活保護世帯については医療保険適用外のため、病状により変化が生じる。葬祭扶助は受給者の状況により発生の有無が生じる。

◎ジェネリック医薬品利用の推進・奨励は。〈福祉課長〉一般の治療対応と同様に啓蒙普及されてきている。

#### 板垣致江子 議員

#### 老人福祉費

◎県が推奨している「小さな拠点施設」の実績は。

〈福祉課長〉昨年度に小さな拠点事業補助対象実績はない。

◎歩いていける拠点の要望がある。今後の予定は。

〈福祉課長〉宮内・赤湯地区に各1箇所開設された。通所型・訪問型等多様な取り組みを検

討する。

### 防災ラジオ活用は

◎緊急告知防災ラジオ730台は配布済みか。

〈総合防災課長〉地区長、地区防災会会長に合計160台は配布済み。避難行動要配慮者225台、要支援者30台で、半分程度の配布状況だ。

◎すべての配布完了時期は決まっているか。

〈総合防災課長〉9月に配布を通知したが、必要ないと断られる場合もあるため、内容を説明しながら配布を続ける。今後特に期限を切るという状況にはない。

◎配布されたものの、日中不在の方もいる。防災ラジオの活用、アドバース等の考えは。

〈総合防災課長〉配布したラジオが電波の入る所、確認できる所に置くようお願いしている。ラジオで情報が取れない

場合は、他の手段で情報をとっていただくようにしている。

◎自分で避難できない方がいる。その指導は。

〈総合防災課長〉命を守る避難が必要なので、今後、地区長会、自主防災会と相談していきたい。

### 山口 正雄 議員

#### がん検診率向上を

◎二人に一人がガンになると言われる時代、なぜがん検診率が向上しないのか。

〈すこやか子育て課長〉

啓蒙活動として、検診通知・市報掲載や保健指導の際に広報している。今年9月、NHK番組「ためしてガッテン」で乳がん検診普及の放送前に、未検診の方を対象に受診勧奨ハガキを送付した。その結果、放送後に20数件

の申込みがあった。今後とも検診率向上に努力していきたい。

◎検診の「再度のお知らせ」の効果は。

〈すこやか子育て課長〉7月に送付し、現時点で特定検診で100件程度問い合わせがあり、30名程度の申込みがあった。

◎胃、呼吸器、大腸、子宮頸、乳がんの5つ

を検診しているが、その他のがんで、血液検査で容易に検診できるものはあるか。

〈すこやか子育て課長〉

専門的なことはわからないが、前立腺がんは別に検診しており、その他のがんについては特定健診での血液検査で容易に判断できるものはないと認識している。

◎早期発見、早期治療が基本で、ステージが

上がることによって医療費も高額になる。検診率が向上するよう今後とも取り組んでほしい。



#### 森林整備を早く

◎森林経営計画が昨年3件、前年の10件から減少した。なぜか。

〈農林課長〉計画を立て

れば、5年以内に成果を上げる必要がある。成果が出せなければ補助金の返還が求められる。委託先である森林組合の仕事量とのバランスも必要だ。

◎今年度まで、全体の森林面積の何%が整備完了しているのか。

〈農林課長〉経営計画を

策定し実施中の面積は民有林の8.6%となっている。

◎災害防止という観点からも、できるだけ早く進めて欲しい。



森林整備の様子

#### 「50才未満夫婦」

##### 条件見直しを

◎子育て世代定住促進交付金で19件の活用があった。何人の方が増えたのか。

〈建設課長〉新規転入5件16名、Uターン2件

7名、市内貸家からの移動12件36名、合計59名になる。

◎この交付金制度の

「中学生以下の子を養育している50才未満の夫婦」の定義は。

〈建設課長〉夫婦とも50才未満ということだ。

◎晩婚化の時代、夫婦が50才を超えて中学生以下の子を養育している場合もある。なぜ50才なのか。

〈市長〉借入金などのライフステージの考えからきている。時代に応じて変わってくるものと思う。

◎50才を超えても、中学生以下の子を養育していることに変わりはない。不公平感を感じると思う。市長は、子育て支援には特別な思いを持たれているのでぜひ、見直しをしてほしい。

〈市長〉直ちにどうするとは言えないが、意見を参考にして今後考えていきたい。



# 一般質問と答弁要旨

## どうする学校の働き方改革！ どうなる中学校の部活動！

島津善衛門 議員



「学校における働き方改革に関する緊急対策」

◎文部科学省の通知による基本的な考えは。

〈教育長〉学校の抱える課題や問題はより複雑・困難化し、専門性の高い事案も増えるなど、学校や教員に求められる責務は拡大・多様化している。学校・教職員のニーズを踏まえ、県教育委員会と連携し、専門スタッフの適切な配置を行いながら、教育の質を維持・向上するよう努める。

「スポーツ庁が策定した運動部活動ガイドラインへの対応」

◎運動部活動を適切に運営する課題は。

〈教育長〉課題としては、顧問となる教員の長時間労働や教員に競技経験等がなく専門的な指導ができない状況がある。

◎平日の活動時間を2時間程度、休養日を週2日以上設けること等が示されているが。

〈教育長〉スポーツ医科学の研究を踏まえて、活動時間等に関する基準が規定されていると捉えている。

◎こうした休養日等の基準を設けることによつて、競技力の低下や、活動したい生徒の希望を抑えることにならぬか。

〈教育長〉過度な練習はスポーツ障害等のリスクを高め、体力・運動能力の向上につながらない。短時間で効果が得られ、生徒のニーズにあつた活動を行う必要があり、科学的なトレーニングを導入した活動を進める。さらに、保護者の理解をいただくことも大切であると考えている。

山口 裕昭 議員



## 高齢者の熱中症対策に地域集会所の活用を 人口減少対策に新成人の声の活用を

高齢者の熱中症対策

◎市が熱中症対策で進めている小中学校へ空調設備の整備計画は賛同するが、実際に熱中症で救急搬送される患者は60歳以上が多い。空調設備のある集会所や会館を暑い日に開放して活用できないか。

〈市長〉各地区で高齢者サロン等を開催しているが、熱中症予防の一環として集会所や会館を活用し、高齢者の見守りを図ることも一つの方法だと思う。

◎小中学校にもこの度空調設備を整備する。集会所などを高齢者に開放した場合も空調の電気代を補助すべき。  
〈市長〉小中学校は公共施設で市に責任があり性質がちがうと考えている。

◎高齢者は暑さを我慢することがある。熱中症予防の啓発も必要だ。

〈福祉課長〉高齢者サロンでは健康講座を実施しており、その中で対応を考える。

人口減少対策

◎昨年提案した市外転出者への臨時アンケートの実施状況と結果は。

〈市長〉成人式で新成人を対象に実施した。結果として、雇用の場の充実を求める声が最も多く、商業施設や、結婚・子育て支援、公共交通の利便性向上などの要望が多かった。今後、総合戦略を進める上で基礎資料とする。  
◎今回、南陽市をより良い街にするための方策を自由回答でお願いしていたが、あの回答は宝の山だ。精査し、実施してほしい。



山口 正雄 議員

## 工業団地整備 スマートIC要望前に形を作りたい

◎企業誘致の目標設定をどう考えているか。

〈市長〉雇用の場の確保は欠かせない。工業団地整備のほか、工業地域への用途変更で用地確保したり、空き工場等を紹介・調整するなど様々な角度から目標設定を検討する。

◎工業団地整備をどう考えているか。

〈市長〉スマートIC候補地付近も視野に入れて、場所やスケジュールを検討する。

◎その時期は、スマートICの見通しがついた段階か、その前か。

〈市長〉工業団地はスマートICと相互に関連があるので、事前に団地整備を進めていく。

◎団地の完成時期をどう考えているか。

〈市長〉スマートICの必要要素でもあるので、国への要望前に形を作

る必要がある。

◎団地整備と企業誘致どちらが先と考えるか。

〈市長〉団地がないと話にならない。団地が優先だが、間を置かず誘致が決まるのが理想。それに向けて努力する。

◎空き家登録者に後片付け費用などの補助は

〈建設課長〉話を聞きながら模索していく。

◎移住者向けのワンストップ体制は。

〈副市長〉多くの課にまたがるので仕組みを作っていく。

◎定住後のアフターケアをどう考えているか。

〈副市長〉本人の望んでいることが実現できるかが移住・定住の最大の課題だと考えている。

◎地域産業振興主幹

今後全力でバックアップしていきたい。



佐藤 明 議員

## 弱者の立場で市民本位の市政運営を

◎白岩市政2期目の市政運営の具体策は。

〈市長〉1期目において、身の丈に合った対話のある市政を基本に「子どもを産み育てやすいまち」「年をとっても安心して暮らせるまち」「人が集まり賑わうまち」の3つを基本に取り組んできた。具体的に①赤湯小学校の学童施設、沖郷地区への保育施設の整備、障がい者の医療ケアや発達支援等安心して子供を産み育てられる環境の充実②「年をとっても安心して暮らせるまち」については、31年6月開院に向けて南陽病院の新築、民間による透析専門の診療所開設等

地域医療の充実、災害からの復旧、復興事業の早期完成、除排雪方法の改善等暮らしやすいまちづくりを進めて

いく③「人が集まり賑わうまち」は道路網の整備等、地域活性化を目指していきたい。

◎まちづくりの指針となる第5次総合計画が策定されてからかなりの年数が経過しているが、具体的にどう課題が進んでいるのか。

〈市長〉総合計画に位置付けている事業総数251件のうち、事業完了が22件、事業実施が26件、事業着手率は99%となっている。

◎女性職員の幹部登用の考えは。

〈市長〉「南陽市特定事業行動計画」において女性管理職8%以上を目標にしている。

◎あまりに少なすぎる。

〈市長〉将来的には半数にする考えでいる。

◎2期目の市政運営はしっかりと腰を据えて取り組んで頂きたい。





田中 貞一 議員

# 市政全般について市長に問う！

◎選挙公約実現の具体的な施策は。

〈市長〉3人つ子政策の継続拡充、子育て支援等の実績を勘案し、対象範囲の拡大と事業内容の見直し検討を進めていく。

◎都市計画マスタープラン見直しを公約されたが、市長が描いているグランドデザインを示していただきたい。

〈市長〉現行のプランは、26年3月に策定され、32年が目標年次である。住宅政策やインフラ整備等、将来の姿を見据え実態に即した見直しを進めていく。

◎仙台南陽会設立の目標年次はいつか。

〈市長〉市観光協会を中心に昨年度から検討しており、10月に準備会。来年2月に設立予定。目的は相互交流発展である。本市出身者だけ

ではなく、南陽ファンの方々にも気軽に参加できる会としたい。

◎本市農業振興計画作成の進捗はどうか。

〈市長〉農業地域整備促進協議会に対し諮問中で、9月中には答申をいただく予定だ。

◎力強い本市農業現場を作る手立てとして、

国県補助事業へのかさ上げや、単独補助事業に力点を置き、斬新で強固な基盤づくりが肝要と考えるがいかがか。

〈市長〉国県の施策や計画と一体的な推進を図り、抱える課題解決を目指す。独自補助に力点を置くことも重要と捉えている。

◎白竜湖調査報告書を読んで、今後の対応は

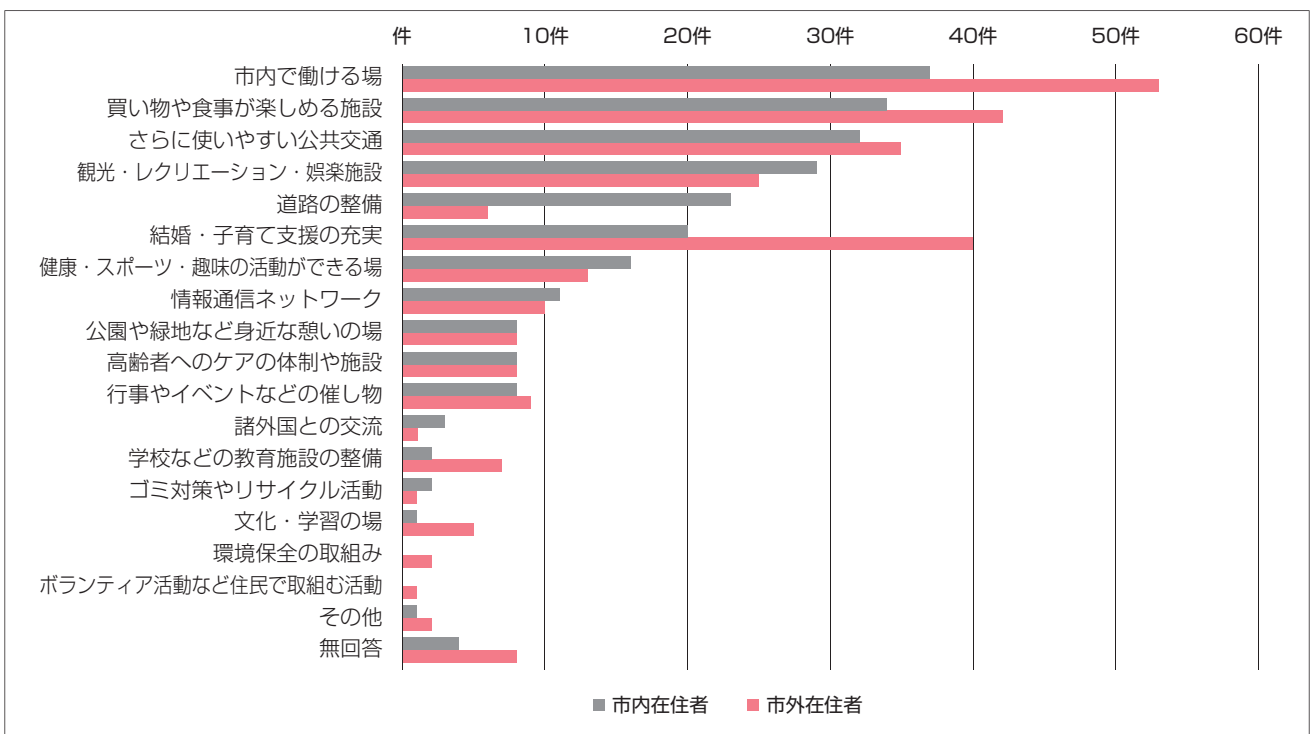
〈市長〉任期中に道筋をつける。

## 今年の新成人にお聞きしました！

### 新成人アンケート結果（抜粋）

（実施日：5月3日） 回答数/総数 197件/257件（回答率76.7%）

問：南陽市に住み続けてもらう、または市外から南陽市に転居してもらうためには何を充実させるべきだと思いますか



# 市長給与減額条例可決 ライドシェア導入反対請願採択



付託議案1件

請願1件

◆南陽市特別職の職員  
の給与に関する条例の  
一部を改正する条例の  
制定

市長の給料支給額の  
一部を減額するための  
改正で、具体的には、  
10月1日から34年7月  
29日までの間、市長給  
与の10%を減額して支  
給するもので、審査の  
結果、全員異議なく可  
決した。

◆ライドシェアの導入  
に反対し、安全・安心  
なタクシーを国に求め  
る意見書の提出につい  
ての請願

本請願は、その事業  
主体が運転者の仲介の  
みを行う業務形態であ  
るため、一種免許での  
自家用運転手が運送責  
任を負う形態(白タク)  
を前提としている。そ

「ライドシェアとは」  
仲介事業者(マッチ  
ング事業者・プラット  
ホームなどという)が、  
スマホアプリで一般ド  
ライバーと利用者を仲  
介し、自家用車を使っ  
て、有償で旅客運送を  
行わせる配車サービ  
スをいう。

のため、運行管理や車  
両整備等の責任を負わ  
ず、安全確保や利用者  
保護等で問題が生じる  
懸念がある。二種免許  
を必要とし、道路運送  
法、労働基準法等の  
様々な法令を遵守し、  
安全コストを掛けるタ  
クシー事業を始め、路  
線バス、鉄道を含む公  
共交通に大きな混乱を  
もたらす恐れがあるた  
め、導入反対の意見書  
を国に提出するもの。  
審査の結果、全員異  
議なく可決した。

## 行政視察レポート

7月11日～13日

北海道余市町・札幌市・  
小樽市

◆「余市町ワイン特区」

ぶどう栽培面積日本  
一を自負する余市町は、  
23年にワイン特区認定  
を受け、現在10社のワ  
イナリーがある。

○ワイン産業振興

○商品研究・開発支援

○余市ブランド強化

の3点が、町長公約の  
6次産業化政策目標に。  
ぶどう栽培者の「登  
醸造」では、ぶどう販  
売から、ワイン販売強  
化を急ぐ。町の補助制  
度も、栽培、醸造環境

整備支援を行うことも  
に、飲食店でのワイン  
提供用のワイングラス、  
ワインサーバー購入費  
などを支援し、町ぐる  
みでワイン振興を図っ  
ていた。



登醸造での説明

◆小樽市「定住自立圏  
構想」

1市4町1村での共  
生ビジョンを策定。5  
町村は小樽市の都市機  
能を、小樽市は5町村  
の自然環境による安ら  
ぎを互いに享受してき  
た経緯がある。

特に、医療面では3  
町1村は診療所が1ヶ  
所。交通面は2町1村  
でバスのみ。小樽市か  
ら積丹町まで100kmの距  
離など、課題が多い中  
で様々な面で取り組ん  
でいた。

(委員長 山口 正雄)

◆札幌「狸小路産食  
彩HUG(ハグ)」  
道内各地から、新鮮  
な野菜、水産物、食肉  
などの納入を受け、札  
幌市の助成を受け開業。  
10年が経過し、現在は  
自立。毎日500～800人が  
来場、50～80万円の売  
上。午前10時頃でも買  
い物客が途切れず、人  
口の多さ、品質、接客  
の良さが奏功している  
と感じた。



小樽市議会研修



# NHK「ためしてガッテン」とのコラボ 乳がん検診の受診率アップに期待



付託議案なし

## 協議会報告

### 乳がん検診について

乳がん検診受診率向上のため、NHK「ためしてガッテン」乳がん検診特集を活用した受診勧奨事業に参加し、奨励ハガキを送付した。検診世帯調査による未希望者1543名に送付。事業費用は約15万円。勧奨通知による申込みは29件。

## 行政視察レポート

8月1日～3日

### ◆青森県八戸市

「本のまちを

目指す八戸」

八戸市は本のまちづくりを目指しており、「マイブック推進事業」を視察した。

市内全小中学生を対象に2千円のマイブッククーポン券を配布し、

加盟書店で本を購入し、読書に親しむ環境を整えていた。

0歳児には、絵本のプレゼント、3歳児には読み聞かせ本が購入できるキッズブッククーポン券を配布する等、きめ細やかな事業を展開していた。

一番感心したことは全国でも珍しい、民間の複合ビルの中に公設ブックセンターを設けていること。「たかが本、されど本」の思いを募らせ「新しい公共サービス」の在り方を実感



公設ブックセンターの内部

した。

### ◆岩手県久慈市

「都市と農山漁村

の共生を目指す」

「教育旅行受入事業」

について視察した。

旅行に訪れた学校、団体に対して、豊かな自然を活用した自然体験、伝統文化体験、農林漁業体験等のプログラムが用意されており、新たな発見や感動、生きる力を学ぶもの。

「ふるさと体験学習協会」が仲立ちして、受入学校と旅行会社が連携して実施されていた。



久慈市議会研修

29年度は32団体、延べ5630人を受け入れている。

我が南陽市も、自然豊かなところであるが、まだまだ生かし切れていないのではないかと痛感させられた。

### ◆岩手県宮古市

「震災を

忘れないために」

「津波遺構保存整備事業」を視察した。

宮古市は東日本大震災で、死者行方不明者568人、全壊一部損壊449棟の甚大な被害を受けた。

23年宮古市議会から

「震災からの復興に向けた提言」がなされ、津波被害の歴史や教訓を内外に伝えるための整備事業や防災教育を充実することが盛り込まれた。その一つとして津波で被害を受けた民間のホテルを市が購

入し、津波遺構として保存することになった。その「たろう観光ホテル」は田老地区の海

辺近くにあり、鉄骨7階建てで、4階まで津波が押し寄せたとのことである。これを見て津波の脅威を感じない人はいないだろう。

今までの整備事業費は取得費も含めて、2億3千万円（一部国の津波遺構保存助成金を活用）。さらに維持管理費として、10年間に7千8百万円ほど必要とのこと。

（委員長 片平 志朗）



津波遺構「たろう観光ホテル」

# 米原市で獣害対策 中津川市で移住・定住対策を研修



付託議案なし

## 行政視察レポート

7月2日～4日  
滋賀県米原市

### ◆「獣害対策マスタープランについて」

滋賀県の北東部に位置し琵琶湖に接し、冬季には雪の多い豪雪地帯。人口3万9千人。



米原市役所山東庁舎前

獣害対策マスタープランは、被害の防止対策を集落ぐるみで画的に進めていくために、どこで、何が、どれだけ必要なかを分かりやすく示したプラン。

①マップによる見える化（地域住民に聞き取り調査実施）

②集落が取り組む仕組みの作成

③米原市集落ぐるみの獣害総合対策支援交付金制度（市単独）

があり「補助対象経費」として、国・県の補助対象外の部分を補助するもの。

○進入防止柵整備事業  
○有害鳥獣追い払い用具整備事業

○捕獲檻整備事業  
などがある。

捕獲対象はニホンジカとイノシシとし、目標頭数1800頭に対し、

昨年 の 駆除 頭数 は 1200頭で、内イノシシは500頭とのこと。

このプランは行政のみでなく集落ぐるみで計画・実施し、市単独の補助メニューも充実しており、獣害対策

事業に対する予算措置も、猟友会委託費だけで約3千万円もあり、本市の予算額とは桁が違ふ。今後の対策推進の参考になった。



米原市議会研修

### 岐阜県中津川市

### ◆「移住・定住支援事業について」

岐阜県の南東部に位置し、丘陵地が多い東濃地域において、北部と南部を中心に山地が広く分布している点が特徴。人口7万9千人。23年度に定住促進課

⑦UIターナー住宅

⑧移住ガイドブック・チラシの作成など。

特に「空き家情報バンク」のチラシを固定資産税納入通知書に同封し登録推進を図っていること。また、UIターナー住宅を、高齢化率の高い、少子化地域を中心に市内6ヶ所に38戸を整備している。

2027年開業予定のリニア中央新幹線の駅とリニア車両基地が出来ることから、今後さらに、企業誘致や移住・定住等の推進が図られ、地域の活性化が期待できるが、そのような中においても、人口減少

への危機感を持ち、対策に取り組んで、着実に成果を上げていることを学んだ。

（委員長 白鳥 雅巳）



中津川市議会研修

を設置し「オール中津川」で住まい・働く場所・子育て環境・教育等の関係部署が一体となり取り組んでいる。

### 移住促進策

①情報発信・移住相談会実施

②SNSによる発信

③住宅取得補助

④家賃補助

⑤空き家バンク

市内22の不動産業者が協力。

⑥中津川暮らし体験



山形県市議会議長会  
議員研修会

8月9日、山形ビツクウイングにて議員研修会が開催された。

講師は、鳥取県知事や総務大臣を歴任され、現在は早稲田大学公共経営大学院教授の片山善博氏。

⑤ 地域の視点と地方

議会

片山氏は講演の中で国の地方創生関連施策を例に挙げ「地方の人口増加や産業振興に明るい兆しが見えているか」と疑問を投げかけ、国の施策は中央目線で進んでいると警鐘を鳴らした。

片山氏は、鳥取大学の客員教授や日本郵船株式会社社外取締役なども兼務されており、多様性に富み、深い見識を持ち合わせた知識人との印象を受けた。

また、中央官僚や国会議員に首都圏出身者の比率が高まっているとし「地方を知らない中央に、地方自治体がペースを併せてしまっている」「市民の意見を直接聞ける議会が、施策を地域本位にする拠点にすべき」と結んだ。

① 国の財政と地方の財政

② 人口減少と地方の再生

③ 国の経済・金融政策と地方

④ 政治への信頼回復

はの講演だった。

(山口 裕昭)

置賜三市議会議員  
交流研修会

8月17日、長井市タスパークホテルにて置賜三市議会議員研修会が開催された。

講師は、全国市議会議長会政務第一部長の目黒宏康氏。

演題は「地方行政をめぐる現状と課題」。

(1) 地方分権改革の動向

① これまでの経緯と成果

② 地方創生・まちづくり(魅力ある地域の創造)

③ 人づくり・医療・福祉

④ 放課後児童クラブの支援員条件見直し

しによる待機児童の解消・居場所の確保

④ 農地転用許可の権限移譲

・ 地域の実情に応じた主体的な土地利用の促進

⑤ 新たな雇用対策の仕組み

・ 身近な場所でのワンストップサービスの実現

(2) 地方議会の権能強化

(3) 人口減少時代における地方行政の課題

・ 制度改正の概要

・ 都市のスポンジ化

・ 社会資本の老朽化等について詳細なデータを基に説明され「人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか」の必要性を重視した内容であった。

(島津善衛門)

議会報編集委員会  
研修会

7月23日議会棟において、山形新聞社南陽支社長の多田良宏氏を講師に迎えて「より良い紙面作りのために」をテーマに研修した。

本年7月発行議会、だより(152号)を中心に、表紙写真の講評から各ページの議題、議案審査報告、各常任委員会審査報告、など構成配置や写真のレイアウトなど、限られたスペースの中でいかに正確で公正な記事を作れるか等、プロの目から見て細部にわたりご指導いただいた。

市民の皆様方に、早く読んでみたいと思われる紙面作成、記事を読んでもっともっと詳細を知りたい、など深掘りして市政に関心を

持っていただけのような議会報を作らなければならぬと改めて感じた。

議会報の紙面には限りがありますが、多数の議論、審査報告、各議員の発言などの詳細は、南陽市議会ホームページで一字一句原文のまま読んでいただけます。

今後発行の議会、だよりに、研修で得た知識、技術をふんだんに取り入れ、皆様の負託にお応えできるよう努めてまいりますので、愛読くださるようお願いいたします。

(田中 貞一)



議会報研修会

# こうなっってほしい南陽市

## もっと喜ばれる観光地に

金山 熊坂 直紀



若者コンペティション発表

私は大学卒業後地元に戻り、普段の仕事の他、南陽宣隊アルカディオンを運営するHOPEという団体や、昨年南陽市若者コンペティションで優勝したNEXT50という団体といった、様々な団体に関わらせていただいた。

ております。

地域を盛り上げた！と活動する仲間達からは「新幹線も停まる赤湯駅が観光の起点としてもっと賑わえば良いな！」熊野大社を中心に、もっと観光客の方々が楽しめる空間を創り、出雲大社にも負けないスポットになったら良いのに！」という声を良く聞きます。

今ネットやSNSの普及で、クチコミが爆発的なスピードで広がる時代になりました。例えば一人の観光客が1枚の写真にコメントを付けネットに投稿したとしましょう。それが瞬時に何百、何千万人の目に触れ、それを見た人が「私も行ってみたい！」と南陽市を訪れるきっかけになるかもしれません。テレビや新聞に広告を出さなくても、誰かの経験が共感を呼び、勝手に広告になるすごい時代になったんだと思います。ここに行けば地元のものが楽しめるっていうわかりやすい場所があるとか、観光客がもっと楽しめる場所があれば、より南陽市の魅力は広まっていくのではないのでしょうか。私はお金の滑らかにまわる南陽市になってほしいと考えています。観光客が楽しくて楽しくてしょうがない南陽市、それによって賑い、お金がまわり、ゆくゆくは自分たちに手当てとしてかえてくる仕組みを本気でもう一度考えてみてはいかがでしょうか。

### 表紙の写真

#### 宮内小学校運動会

9月9日、雨のため順延されたが、水捌けの良いグラウンドで最高のコンディションのもと、鐘秀っ子の大きな声が熊野大社の杜に響き渡りました。

生徒数の減少が心配される宮小ですが、この日はやはり地域に届けと徒競走やボール運びリレー、応援合戦など盛りだくさんの競技を元氣いっぱいやりきりました。



大勢の保護者・祖父母の声援を受けた子どもたちの笑顔に心が癒される一日となりました。感謝。(編集委員 島津善衛門)

### 編集後記

実りの秋に入り、議会活動も一層活発になっております。

委員6名は、皆様方に興味を持って読んでいただける議会報を目指し取り組んでおります。

紙面の都合上細部まで載せることができませんが、議会HPでは一字一句原文を詳細に載せております。

今後委員一丸となり読みやすくわかりやすい紙面作りを致しますのでご愛読ください。

(田中 貞一)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 裕昭
- 委員 山口 正雄
- 白鳥 雅巳
- 片平 志朗
- 田中 貞一



梅川 信治 議員  
片平 志朗 議員

#### 役職変更のお知らせ

9月21日付けで、高橋一郎議員が議員辞職したことに伴い、議員役職の変更が行われました。

◎置賜広域行政事務組合議会議員

◎議会報編集委員